



平成 29 年 2 月

平成 29 年度当初予算の概要

	ページ
1 平成 29 年度当初予算の概要	1
2 平成 29 年度当初予算総括表	8
3 平成 28 年度 2 月補正予算総括表	9

神奈川県川崎競馬組合



平成 29 年度当初予算の概要

～ J B C 開催の成果を活かすとともに、経営計画を着実に推進し、
組合経営の安定化と川崎競馬のさらなる発展を目指す～

I 予算編成の基本的な考え方

- 川崎競馬経営計画に掲げた経営目標（①単年度黒字の継続と基金の着実な積立て、構成団体への収益配分金の安定的な繰出し ②川崎競馬本場の売上・入場者数の拡大 ③地域社会から愛され親しまれる川崎競馬場の確立）をしっかりと達成するため、計画に盛り込んだ施策に着実に取り組む。
- 特に、隣接する新商業施設との連携を強化するとともに、J B C 開催の成功を活かして J R A ファンの川崎競馬への誘客にも力を注ぐことなどにより、本場の売上及び入場者数をさらに拡大できるよう、積極的な対応を図る。
- 川崎在きゅう馬の頭数不足や川崎所属馬及び所属騎手の成績の伸び悩み、小向きゅう舎の施設・設備の老朽化など、近年顕在化している川崎競馬の課題にスピード感を持って的確に対応する。
- 職員の斬新で幅広いアイデアを施策化することで川崎競馬の振興を図るとともに、職員のインセンティブやモチベーションを高め、より働きがいのある競馬組合づくりを推進するため、平成 27 年度に創設した職員提案制度の趣旨を尊重し、競馬組合全体で検討を深めて必要な調整を加えながらできる限り予算化する。

II 予算規模

(単位：億円、%)

区 分	平成 29 年度 当初予算額 A	平成 28 年度			対前年度比較		
		当初予算額 B	2月補正 予算額 C	2月現計 予算額D (B+C)	A/B	A/D	
予算総額	666.8	625.4	50.6	676.0	106.6	98.6	
勝 売 馬 上 投 票 金 規 模 (川崎競馬 開催	620.0	575.0	45.0	620.0	107.8	100.0
	地方競馬 受託場外発売	170.0	140.1	28.8	169.0	121.3	100.6
	JRA 受託発売	277.0	192.3	59.6	252.0	144.0	109.9

(注) 一千万円未満切捨てのため、合計は符合しない。

III 競馬開催等の状況

1 実施方針

- 川崎競馬開催
 - ・ 正月開催を実施する。(平成 18 年度以降 12 回連続)
 - ・ 全 13 回の開催を行う。
 - ・ 原則として、月曜日から金曜日までの 5 日間開催とし、売上が最も見込める水曜日に重賞競走を実施する。

- 地方競馬受託場外発売 ・南関東他3場(大井、船橋、浦和)の全日程を場外発売する。
・併せて、南関東他3場以外の競馬場のレースもできる限り場外発売する。
- J R A受託発売 ・ J R Aの全日程を受託発売する。

2 開催日数等

区 分		平成 29 年度	平成 28 年度
川崎競馬 開催	開催回数	13 回 (10 回)	14 回 (11 回)
	開催日数	63 日 (49 日)	63 日 (47 日)
地方競馬受託場外発売		204 日 (116 日)	202 日 (114 日)
地方競馬 計		267 日 (165 日)	265 日 (161 日)
J R A受託発売		109 日 (—)	106 日 (—)
合 計		376 日 (165 日)	372 日 (161 日)

(注) () はナイター開催分を内数で示す。

IV 平成 29 年度当初予算の重点的な取組み (凡例 ⑨ : 新規事業、※ : 職員提案事業)

1 売上及び入場者数の拡大に向けた取組み

(1) 魅力ある競走の実施

- 競走番組の充実 賞典奨励費 43 億 5,798 万円(対前年度比 7,411 万円増)
ファンの興味をひく、魅力ある競走番組を実施するため、賞金及び手当を増額するとともに、川崎らしい特色あるレースを実施する。
 - ・重賞競走等の賞金引上げ 3,655 万円
川崎マイルズ、スパーキングサマーカップ、クラウンカップ、鎌倉記念の重賞競走及び3歳馬の普通競走等について賞金の引上げを行う。
 - ・⑨ J R Aインターネット投票システムによる発売日の拡大に伴う対応 2,346 万円
同システム発売日に発売対象となる競走(1着賞金 500 万円以上)を編成するとともに、準重賞競走等の賞金を引き上げる。
 - ・賞金配分方式の変更 1 億 1,145 万円
1着から5着までに入着した競走馬の馬主に対する賞金配分方式を1着賞金の 1.7 倍から 1.8 倍へ引き上げる。(170 方式から 180 方式への変更(重賞競走を除く))
 - ・牝馬限定競走である「川崎ヴィーナズシリーズ」や川崎競馬名物の毛色を限定した競走(くろうま賞(青毛、青鹿毛、黒鹿毛限定)、ホワイトクリスマス賞(白毛、芦毛限定)、ゴールデンホース賞(栗毛、栃栗毛限定))を実施する。
 - ・短距離競走(900m)である「川崎スプリントシリーズ」を体系的に実施するとともに、長

距離競走（2000m・2100m）もできる限り実施し、距離の多様化を図る。

- ・これまで実施してきた佐々木竹見カップジョッキーズグランプリ、川崎ジョッキーズカップに加え、新たな騎手の選抜競走として、全国の地方競馬主催者及び日本中央競馬会が共同で実施するヤングジョッキーズシリーズのトライアルラウンドを実施する。

- 川崎競馬の魅力向上に向けた強い馬づくり 2億2,348万円（対前年度比4,603万円増）
川崎競馬の魅力を高め、売上や入場者数を拡大するため、強い馬づくりや川崎在きゅう馬の頭数確保、川崎競馬所属騎手の騎乗技術向上に向けた施策等を積極的に実施する。
- ・川崎在きゅう馬出走奨励金の充実 5,000万円
川崎在きゅう馬が出走した場合の馬主に対する出走奨励金を引き上げる。（9万円→10万円）
- ・着外手当の充実 2,952万円
着外手当のうち、川崎在きゅう馬の付加支給分を引き上げる。（2万円→3万円）
- ・調教師、調教師補佐、騎手及びきゅう務員に対する奨励金の充実 2,827万円
指定交流及び地方交流競走以外の競走における調教奨励金、調教師補佐奨励金、騎乗奨励金及びきゅう務員奨励金を引き上げる。（8,000～13,000円→9,000～14,000円）
- ・馬主協会奨励馬事業費補助 1億2,700万円
川崎競馬に出走させる目的で2歳馬及び3歳馬を在きゅうさせる馬主に神奈川県馬主協会が奨励金を支給する事業に対し助成する。（**新**2歳馬のせりによる高額購入馬、**新**3歳転入馬への助成）
- ・**新**競走馬育成施設等活用補助 620万円
川崎在きゅう馬を坂路等を有する外部の育成施設等に預けて調教を行う場合の施設使用料、馬輸送経費等について助成する。
- ・**新**馬主募集パンフレット・PVの制作 118万円
川崎競馬の馬主を募集し、在きゅう馬を増やすため、充実を図った川崎競馬の賞典制度や施設の状況についてPRするパンフレット及びPV（プロモーションビデオ）を制作する。

(2) 広報・ファンサービスの充実

- 積極的な広報の展開 広報宣伝費 5億4,519万円（対前年度比5,222万円増）
川崎競馬開催の広報はもとより、WINS川崎の認知度を向上させることで川崎競馬の売上及び入場者数の拡大を図るため、様々な媒体を積極的に活用し広報を展開する。

〈**新**新規事業〉

- ・LINEの活用※ 150万円
- ・ダートグレード競走直前におけるスポーツ紙号外の配布※ 197万円

・川崎所属騎手紹介ビデオの制作※	108万円
・重賞競走の展望・分析記事の発信	19万円
・貴賓室PR用チラシ・ポスター作成、雑誌広告の実施	100万円

〈充実強化事業〉

- ・tvkテレビ中継の全開催日における実施（26日→63日）
- ・JR川崎駅及び京急川崎駅の構内広告の充実
- ・電車内中吊り広告ワイド版の活用、掲出路線及び掲出期間の拡充
- ・スポーツ新聞の馬柱掲載レース数の拡大
- ・WINS川崎の交通広告の拡充

○ 魅力あるファンサービスの実施

ファンサービス費 1億8,638万円（対前年度比5,264万円増）

川崎競馬本場及びWINS川崎の入場者数の拡大と売上の増進を図るため、魅力あるファンサービスを実施する。

〈**新**新規事業〉

・WINS川崎営業日における無料送迎バスの運行※	3,119万円
・カツマルくんホールの有効活用に向けたイベント、企画展示の実施※	432万円
・外国語ガイドブックの作成	145万円
・おみくじ馬券（コンピュータによりランダムに選択された馬券）の販売委託※	50万円
・駐車場の複数回利用による料金割引制度の導入※	50万円

〈充実強化事業〉

- ・カツマルくんポイントカードのリニューアル（場外発売日のポイント対象化）
- ・ファミリー層向けや馬とのふれあいイベントの充実
- ・貴賓室の有効活用に向けたサービスの充実及び旅行会社等との連携
- ・WINS川崎営業時のイベントの充実

(3) 川崎競馬場の場内環境等の改善

- スタンド等のリニューアル 施設賃貸借料20億1,384万円の一部及び特別負担金5億円
来場者にとって居心地の良い場内環境を整備し、本場の売上及び入場者数を拡大するとともに、競馬開催における安全と公正の確保を図るため、施設会社と連携して競馬場施設のさらなる整備を行う。

また、強い馬づくりの推進や川崎在きゅう馬の頭数確保に向けて、小向きゅう舎等の調教環境を改善するとともに、老朽化した施設を更新する。

（主な整備内容）

- ・スタンド：一般席の椅子更新、1号スタンド3階屋外有料席の整備
- ・正門駐車場及び周辺施設：エレベータの増設、医務室及び検量所の移設、関係者用駐車場の確保

- ・ 走路：2 コーナー馬待避所の拡張
- ・ 内馬場：駐車場北側の2 層化、遊具の増設・リニューアル
- ・ 小向きゅう舎及び練習馬場：新たな馬運動場の整備、練習馬場内コースのラチ交換

- 設備の更新及び機能拡充 3 億 5, 332 万円
老朽化している統制室分電盤、駐車場精算機を更新するとともに、入場ゲートシステムの集中管理化を図る。

(4) 在宅投票の拡大

- J R A インターネットシステムによる発売日の拡大
J R A との調整の結果、同システムによるナイター競馬の発売日を拡大することが認められたことから、原則として従来の火・水曜日に加え、木曜日も発売する。(年間発売日数 26 日→35 日)

(5) 経営計画の推進

- 経営計画推進事業費 200 万円
経営計画に基づく取組みを着実に進めるため、施策化に向けた調査等を行う。
(キャッシュレス投票の導入に向けた調査、職員等の資質向上に向けた研修など)
- **新**職員提案事業推進費※ 1, 000 万円
職員からの提案事業について、効果が認められる場合にはスピード感をもって実施するため、必要な経費を一括して予算計上する。

2 経営の効率化・安定化に向けた取組み

- (1) 民間活力の活用推進 612 万円
更なる経営の効率化に向けて、新たに資金業務、発走業務、下見所業務等の一部を委託化する。

(2) 基金の積立てと活用

- 設備等整備基金の積立て 28 年度 2 月補正予算 13 億円、29 年度当初予算 10 億円

3 公正な競馬の着実な実施に向けた取組み

- (1) きゅう務員確保対策事業費補助 2, 860 万円
優秀なきゅう務員を確保するため、調教師会が支給するきゅう務員のボーナスに対する補助額を拡充する。
- (2) 競馬開催における安全と公正の確保
 - ・ 禁止薬物陽性馬の発生防止対策を徹底するとともに、認定きゅう舎(外きゅう)の立入検査など、公正確保対策を強化する。

- ・**新** 川崎競馬所属騎手の安全確保対策の充実※ 112 万円
騎手の安全確保を図るため、川崎競馬所属騎手にヘルメット及びプロテクターを貸与する。
- ・**新** きゅう舎関係者に対する講習等の実施 50 万円
川崎競馬に所属する調教師、騎手、きゅう務員を対象として、公正競馬の徹底やきゅう舎経営手法の習得及び調教・騎乗技術の研さん等を目的とした講習、研修を行う。
- ・**新** 騎手ドーピング検査の実施 34 万円
平成 29 年度から全国の主催者に義務付けられる騎手に対するドーピング検査を行う。

4 地域社会との連携・協調の推進に向けた取組み

(1) 地域社会から愛され、親しまれる川崎競馬場づくりの推進

ファミリー層向けやWINS川崎営業時のイベントを充実するとともに、新商業施設との連携を図るとともに、構成団体や県内市町村、地元企業等の協賛レースを増やし、地域社会との連携を強化する。

(2) 災害対策の強化

220 万円

大規模地震等の発生に伴う、地域住民の一時避難対策及び来場者の帰宅困難対策のため、毛布・食糧等の物資を計画的に備蓄する（対象人数 3,000 人）。

(3) 県畜産会補助金

340 万円

県畜産会の畜産普及啓発事業等に対し助成するとともに、同会と連携し畜産関連イベントでの広報等を実施する。

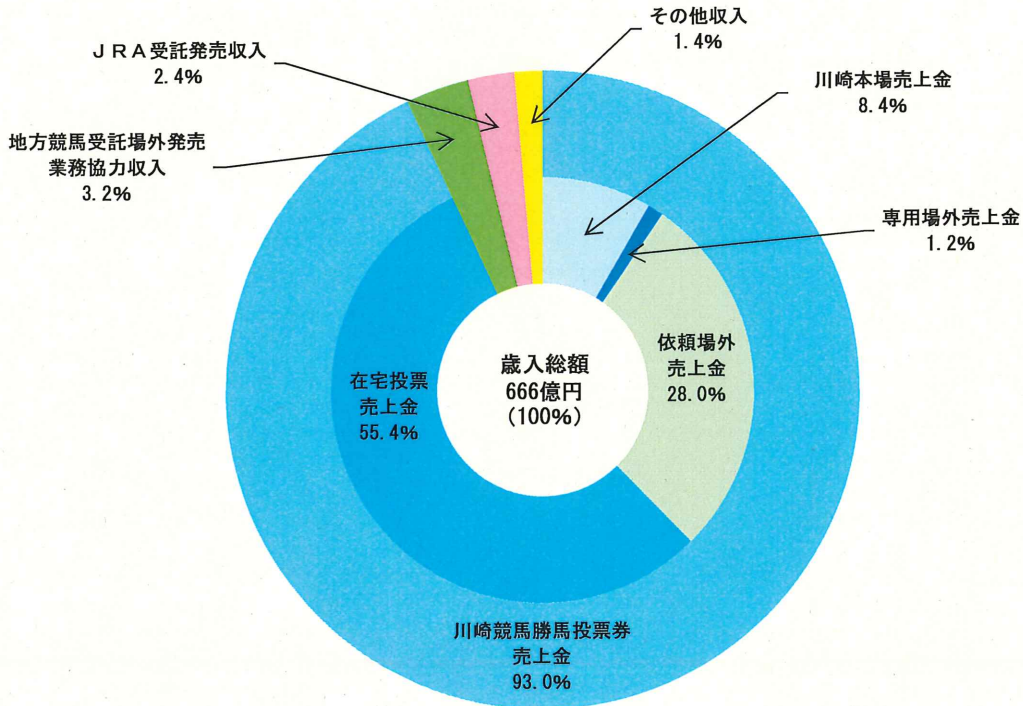
(4) 構成団体への収益配分金の増額

地方財政に寄与するため、神奈川県と川崎市への収益配分金の繰出金を増額する。

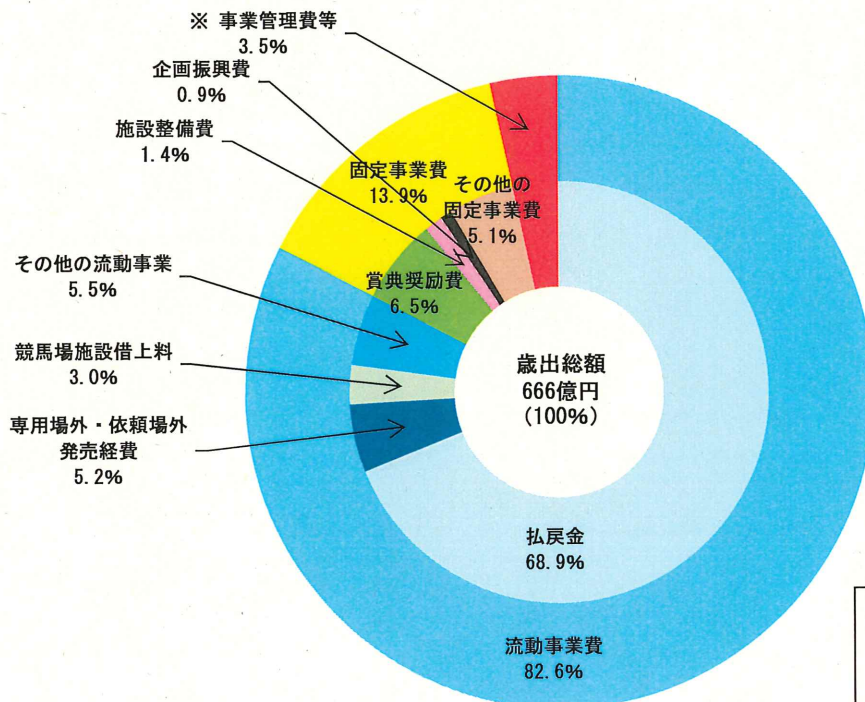
3 億 6,000 万円（神奈川県 2 億 4,000 万円、川崎市 1 億 2,000 万円）

(参考) 平成29年度当初予算 歳入・歳出の内訳

【歳入】



【歳出】



※ 事業管理費等 内訳	
事業管理費等	1.0%
設備等整備基金積立金	1.5%
経営安定化基金積立金	0.0%
構成団体繰出金	0.5%
予備費	0.5%
計	3.5%

平成29年度当初予算総括表

【歳入】

(単位：千円、%)

区 分	平成29年度		平成28年度		比較増減	
	当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	A - B	A/B
川崎競馬勝馬投票券売上金	62,000,000	<100.0> 93.0	57,500,000	<100.0> 92.0	4,500,000	107.8
川崎本場売上金	5,580,000	<9.0> 8.4	5,725,000	<10.6> 9.2	△145,000	97.5
専用場外売上金	797,000	<1.3> 1.2	830,500	<1.7> 1.3	△33,500	96.0
依頼場外売上金	18,660,000	<30.1> 28.0	19,299,500	<35.7> 30.9	△639,500	96.7
在宅投票売上金	36,963,000	<59.6> 55.4	31,645,000	<52.0> 50.6	5,318,000	116.8
地方競馬受託場外発売業務協力収入	(17,000,000) 2,154,427	3.2	(14,011,000) 1,832,614	2.9	(2,989,000) 321,813	(121.3) 117.6
J R A受託発売収入	(27,700,000) 1,603,862	2.4	(19,238,000) 1,130,636	1.8	(8,462,000) 473,226	(144.0) 141.9
設備等整備基金繰入金	-	0.0	1,000,000	1.6	△1,000,000	皆減
その他収入	923,711	1.4	1,077,070	1.7	△153,359	85.8
計	66,682,000	100.0	62,540,320	100.0	4,141,680	106.6

(注1) < >内は川崎競馬勝馬投票券売上金の構成比を示す。(注2) ()内は受託発売にかかる売得金額を示す。

【歳出】

区 分	平成29年度		平成28年度		比較増減	
	当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	A - B	A/B
流動事業費	55,123,347	82.7	51,128,233	81.7	3,995,114	107.8
払戻金	45,930,000	68.9	42,587,992	68.1	3,342,008	107.8
地方競馬全国協会交付金	858,250	1.3	794,500	1.3	63,750	108.0
地方公共団体金融機構納付金	250,000	0.4	150,005	0.2	99,995	166.7
専用場外発売費	499,562	0.7	513,893	0.8	△14,331	97.2
依頼場外業務協力費	2,995,331	4.5	3,061,130	4.9	△65,799	97.9
競馬場施設借上料	2,013,843	3.0	1,876,688	3.0	137,155	107.3
その他の流動事業費	2,576,361	3.9	2,144,025	3.4	432,336	120.2
固定事業費	9,260,255	13.9	9,989,138	16.0	△728,883	92.7
競馬場施設管理費	470,074	0.7	445,830	0.7	24,244	105.4
賞典奨励費	4,357,987	6.5	4,283,876	6.8	74,111	101.7
企画振興費	599,543	0.9	578,529	1.0	21,014	103.6
地方競馬受託場外発売運営費	255,522	0.4	252,065	0.4	3,457	101.4
J R A受託発売費	472,245	0.7	365,650	0.6	106,595	129.2
施設整備費	933,328	1.4	2,007,952	3.2	△1,074,624	46.5
その他の固定事業費	2,171,556	3.3	2,055,236	3.3	116,320	105.7
事業管理費等	637,560	1.0	612,116	1.0	25,444	104.2
設備等整備基金積立金	1,000,688	1.5	300,623	0.5	700,065	332.9
経営安定化基金積立金	150	0.0	210	-	△60	71.4
構成団体繰出金	360,000	0.5	210,000	0.3	150,000	171.4
予備費	300,000	0.4	300,000	0.5	-	100.0
計	66,682,000	100.0	62,540,320	100.0	4,141,680	106.6

平成28年度 2月補正予算総括表

【歳入】

(単位:千円)

区 分	予算現計額A	2月補正予算額B	2月現計予算額A+B
川崎競馬勝馬投票券売上金	57,500,000	4,500,000	62,000,000
川崎本場売上金	5,725,000	△138,000	5,587,000
専用場外売上金	830,500	△33,500	797,000
依頼場外売上金	19,299,500	△562,500	18,737,000
在宅投票売上金	31,645,000	5,234,000	36,879,000
地方競馬受託場外発売業務協力収入	(14,011,000) 1,832,614	(2,889,000) 310,561	(16,900,000) 2,143,175
JRA受託発売収入	(19,238,000) 1,130,636	(5,962,000) 334,314	(25,200,000) 1,464,950
設備等整備基金繰入金	1,000,000	△1,000,000	-
前年度からの繰越金	-	979,864	979,864
その他収入	1,077,070	△58,212	1,018,858
計	62,540,320	5,066,527	67,606,847

(注) ()内は受託発売にかかる売得金額を示す。

【歳出】

区 分	予算現計額A	2月補正予算額B	2月現計予算額A+B
流動事業費	51,128,233	3,507,705	54,635,938
払戻金	42,587,992	3,160,034	45,748,026
地方競馬全国協会交付金	794,500	63,000	857,500
専用場外発売費	513,893	△22,029	491,864
依頼場外業務協力費	3,061,130	△56,071	3,005,059
競馬場施設借上料	1,876,688	87,201	1,963,889
地方公共団体金融機構納付金	150,005	△150,005	--
その他の流動事業費	2,144,025	275,570	2,419,595
固定事業費	9,989,138	△327,615	9,661,523
競馬場施設管理費	445,830	△1,165	444,665
賞典奨励費	4,283,876	△83,517	4,200,359
企画振興費	578,529	-	578,529
地方競馬受託場外発売運営費	252,065	△18,606	233,459
JRA受託発売費	365,650	△27,018	338,632
その他の固定事業費	4,063,188	△47,304	4,015,884
事業管理費等	612,116	9,271	621,387
設備等整備基金積立金	300,623	1,300,000	1,600,623
経営安定化基金積立金	210	-	210
構成団体繰出金	210,000	-	210,000
予備費	300,000	577,166	877,166
計	62,540,320	5,066,527	67,606,847